



上田知事が駆け付け、祝辞で称賛!

越谷市が市制施行60周年を迎えた11月3日、越谷総合体育館において記念式典が開催され、私も出席させていただきました。

60年前の市制施行当時(昭和33年)の人口は4万8千人ほど。現在は7倍以上、34万人を超えるほどの成長を遂げています。

この10年を振り返ってみても、平成20年に大相模調節池をシンボルとした親水文化創造都市「越谷レイクタウン」のまち開き(完成は26年)、平成21年に越谷市自治基本条例の制定、平成24年に東口再開発の完成(越谷ツインシティがオープン)、平成26年にご

当地ナンバー「越谷」の誕生、平成27年に「中核市」へ移行するなど、大きく躍進しています。



上田清司知事は祝辞の中で、「県外から埼玉県への年間来県者数は

1億5千万人。そのうちレイクタウンが5千万人で、東京ディズニーランドの3千万人より多い。越谷市は市民力が高く市民主導で発展している」と称賛しました。

式典では名誉市民をはじめ、この10年(前回の市制50周年記念式典以降)において越谷市の発展に寄与された多くの方(4,537名、358団体)の表彰もありましたが、本当にたくさんの方々のお力の上にこの発展があったことがわかります。

私も越谷市選出の県議として、越谷市民の皆様とともに越谷市のさらなる発展に向けて尽力していきたいと、決意を新たにす一日となりました。



大勢の顕彰者の方をお迎えた式典で挨拶する高橋市長。屋外では、昨年11月のキックオフイベントを皮切りに1年をかけて開催してきた市制60周年記念事業のファイナルイベントとして、グルメフェスティバルや屋外ステージ・道路ステージ、クラシックカーの展示などが行われました。



平成27年にノーベル物理学賞を受賞され、越谷名誉市民となられた梶田隆章さんと。

図書室委員会

国立公文書館を視察しました

11月2日、議員の調査研究活動に役立つ議会図書室の運営を図るために設置されている「図書室委員会」のメンバーとして、「国立公文書館」を視察しました。

ここには歴史的な史料として価値のある膨大な公文書(憲法、法律、条令の公布原本やその関連資料など)

が保管されていますが、その実物数点を間近に見せていただき、歴史の重みを改めて実感しました。

なお保管資料は、順次データ化されており、一般の方でもサイトから簡単に検索・閲覧できるようになっています。



◀平成の書(レプリカ)と、元号選定手続きに関する閣議文書



▲明治22年発布の大日本帝国憲法(明治憲法)内閣総理大臣を筆頭に各大臣の署名は自筆

次期選挙に向け 県議会の定数減・選挙区割変更案を提案

現在の定数と区割りは平成22年の国勢調査に基づくもので、最新の調査に基づいて計算し直すと、1票の格差も広がり、**人口の少ない方が議員数が多い選挙区も2か所**生じてしまいます。

今回、議長の私的諮問機関として埼玉県議会議員定数・選挙区等検討協議会が設置されました

が、各会派案を提示させた後「各会派案が隔たっていると議長に報告する」として、**協議をせず**に終了してしまいました。

これではいびつな選挙区割のまま次回選挙が行われてしまうと、私が所属する「**立憲・国民・無所属の会**」と「**県民会議**」の2会派で議員提出議案として**改正案を提**

案しました。

概要は、総定数を2議席減らし多様な意見の反映を目指して複数区を増やし、政令市内を2区ずつ合わせて5区とし、1票の格差も秩父郡を除き2倍以内とするものです。

しかし、**人口に合せた変更を不要とする自公等の会派により、否決されてしまいました。**

「彩の国功労賞」に自民「待った！」

まさのレポート28号(2018年春号)で、自民党県議団が提出して成立した条例案により「埼玉県民栄誉章」「彩の国功労賞」などの決定に議会の同意が必要になったことをお伝えしましたが、「表彰のタイミングを大きくずらすのでは…」という懸念が現実のものとなってしまいました。

サッカー W杯ロシア大会で活躍した日本代表前監督の西野朗氏ら県ゆかりの5人を対象とした「彩の国功労賞」の決定に自民党側が「基準があいまいだ」などと異

論を唱え、結果として審議が行われないこととなりました。

条例制定以前であれば、もっとスムーズに受賞が決定していたことを考えると、たいへん残念です。

来年度の予算要望を知事に提出しました



吉川橋の架け換え工事 上部工事に着手

(赤で示した橋の基礎部分)



中川を渡る吉川橋の上部工事を行う「工事請負契約」の議案が可決されました。請負金額は13億4470万8千円(税込)です。

上部工事は平成32年7月末の完成予定。その後、その他の工事を順次行い、開通となります。



県政をもっと身近に!



略歴

- 1959年 愛媛県南宇和郡生まれ
- 1982年 文教大学教育学部卒業
- 1982年 埼玉県立越ヶ谷高等学校勤務 (子育て夫の両親の介護のため数年休職)
- 1995年 埼玉県立浦和東高等学校勤務
- 1999年~2011年 越谷市議会議員
- 2011年 埼玉県議会議員 初当選
- 2015年 埼玉県議会議員 2期目当選

県政報告会

2018年

12月26日(水) 18:30~

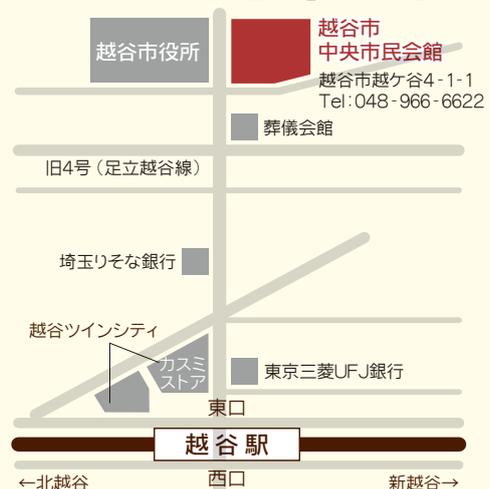
越谷市中央市民会館 ⇨

入場は無料です。お気軽にご参加ください。

現在

- 企画財政委員 ・ 図書室委員
- 危機管理・大規模災害対策特別委員
- 桜井スポーツ連盟会長
- 上間久里婦人防火クラブ員
- 地域医療を考える市民の会越谷役員
- 学校給食と教育を考える親の会会員
- CAP東埼玉副代表
- 越谷市倫理法人会幹事

東武スカイツリーライン「越谷駅」東口より徒歩7分



お問い合わせは、TEL:048-961-8841またはEメール:masano.y4400@gmail.comまで